



パスファインダー Pathfinder ～あるテーマについて調べる際に、役立つ資料や調べ方を紹介します～

人々が生活する中で長い年月をかけて創り出し、守り伝えられてきた文化遺産である文化財。山梨県内にも、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物などの様々な文化財があります。このパスファインダーでは、有形文化財のうち、歴史的・文化的価値を有する建築物の調べ方を紹介します。

1. 修理報告書で調べる

国宝や重要文化財等に指定されている建築物を修理・修復した際には、修理報告書が作成・発行されている場合があります。報告書には、その建物の概要・歴史や、写真、図面のほか、修理により判明したことなどが掲載されています。蔵書検索システム(館内 OPAC、webOPAC)で、キーワードに「調べたい建築物の名称×報告書」などを入力して検索してください。

2. 県や市町村の文化財調査報告書で調べる

国庫補助を受けるなどして県や市町村が行った文化財調査は、調査結果をまとめた報告書が冊子体として刊行されています。山梨県内の建築物に対して行われた文化財調査の報告書を紹介します。

■『山梨県の民家』(山梨県教育委員会／編・発行 1982年)【K52/ヤマ】

山梨県教育委員会が昭和49年度、53年度、55年度に行った「山梨県民家緊急調査」及び追加調査の報告書です。山梨県の伝統的な民家は、「切妻造」「入母屋造」「兜造」など地域性に富んでいます。近世の文化遺産として伝えられてきた山梨県の民家全般の解説と、各民家についての解説、図面、写真等を掲載しています。

■『山梨県の近世社寺建築』(山梨県教育委員会／編・発行 1983年)【K52/ヤマ】

山梨県教育委員会が昭和56年に行った「山梨県近世社寺建築緊急調査」の報告書です。山梨県内の社寺建築で近世以前に建立された木造建造物のうち、江戸時代初期以前の建立のもの全てと、江戸時代中期以降の建立のものは保存状態等により選択したものについて、各社寺建築物の概要、平面図、写真を掲載しています。

■『山梨県の近代化遺産：山梨県近代化遺産総合調査報告書』

(山梨県教育委員会／編集・発行 1997年)【K52/ヤマ】

山梨県教育委員会が平成7、8年に行った「山梨県近代化遺産(建築物等)総合調査」の報告書です。江戸時代末期から昭和20年までに近代的手法により造られた建造物で、産業・交通・土木に関わる近代化遺産を調査し、そのうちの76件について、解説、図面、写真、参考文献により紹介しています。

■『山梨県の近代和風建築：近代和風建築総合調査報告書』

(山梨県教育委員会学術文化財課／編集・発行 2015年)【K52/ヤマ】

山梨県教育委員会が平成24～26年に行った「山梨県近代和風建築総合調査」の報告書です。山梨県内に現存する、明治元年から昭和20年までに伝統的様式や技法により建てられた建造物を中心に調査し、価値が高い建築に対しては詳細調査を行って、解説、図面、写真を掲載しています。

■『芦川～兜造民家と石垣の風景：笛吹市芦川町伝統的建造物群保存対策調査報告(笛吹市文化財調査報告書第14集)』(笛吹市芦川町伝統的建造物群保存対策調査委員会／編集 笛吹市教育委員会 2010年)【K52アツ】

笛吹市が平成19～21年度に行った「芦川町伝統的建造物群保存対策調査」の報告書です。兜造民家と石垣の集落景観が残る笛吹市芦川地区について総合調査を行い、集落の地理的歴史的環境(地勢、歴史、生業、寺社、石造物、祭り等)や集落形態等の解説と、各民家や寺社についての解説、図面、写真を掲載し、また、石積み遺構等についても解説・写真があります。巻末の史料編には、村絵図のカラー写真を掲載しています。

3. 県史・市町村史等で調べる

県史や市町村史誌の中の「文化財編」等に、建築物の紹介があります。下記にその例を紹介しますが、その他の資料は、各市町村史誌の内容をご確認ください。また、文化財の調査記録を独立した冊子にまとめている場合がありますので、蔵書検索システム(館内 OPAC、webOPAC)で「自治体名×文化財」等で書名検索してください。

■『山梨県史 文化財編』(山梨県／編集 山梨日日新聞社 1999年)【K20/ヤ7】

国・県指定文化財を中心として、建造物、絵画、彫刻、工芸品、書籍、庭園の6つの分野の文化財を収録しています。「建築物」の章には、神社建築、寺院建築、旧家の住宅や学校建築などがあり、写真や平面図、解説を掲載しています。また、巻末には分野ごとの索引があります。

■『甲府市史 別編 2 美術・工芸』(甲府市市史編さん委員会／編 甲府市 1988年)【K297/コ】

甲府市域に関係の深い美術・工芸資料を、建築、彫刻、絵画、工芸の4章に大別して記述しています。「建築」の章では、甲府市の社寺建造物、近・現代建築、明治建築(後期)、大正建築、昭和戦前建築、昭和戦後建築で現存している建築物だけでなく、現存していないものについても当時の写真を掲載し、歴史等を解説しています。

4. 山梨県の建築について書かれた本で調べる

地域資料の建築物の分類番号 K52 の書架には、山梨県内の建築物を紹介している本があります。以下、よく利用されるものの例を紹介しますが、その他の本は K52 の書架をブラウジングしてみてください。

■『山梨の洋風建築：藤村式建築百年』(植松光宏／著 甲陽書房 1977年)【K52/ウ】

山梨県令・藤村紫郎(1845-1909)が推奨した擬洋風建築を「藤村式建築」と言います。1873(明治6)年以降の15年間に、校舎、病院、郡役所、警察署など200あまりが山梨県内に建てられました。本書では、現存していないものも含め、山梨県内のすべての擬洋風建築を紹介しています。

■『山梨の近代化遺産』(山梨日日新聞社／編集・発行 2017年)【K52/ヤ7】

「山梨日日新聞」紙上に連載された「わが街の近代化遺産」(2012年5月～2013年6月)の記事を単行本としてまとめたものです。明治から大正・昭和の初期に建築され、現在も使用、もしくは展示されている県内の「近代化遺産」のうち31件について、カラー写真と、建築された経緯や建物の特徴のほか、当時を知る方々への取材を通して紹介しています。

5. データベースで調べる

インターネット上で一般公開している、建築物の文化財を検索できるデータベースを紹介します。

■「山梨の文化財ガイド(山梨県内の国・県指定文化財のデータベース) 山梨の文化財(有形文化財：建造物)一覧」(山梨県) <https://www.pref.yamanashi.jp/bunka/bunkazaihogo/bunkazaiitiranhyou.html> 山梨県内の建造物の文化財(国宝2件)、重要文化財(52件)、県指定文化財(64件)を紹介しています。

■「国指定文化財等データベース」(文化庁) <https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/>

文化財保護法に基づき国が指定・登録・選定した文化財の情報を公開しています。「登録有形文化財(建造物)」では山梨県の文化財165件が掲載されており、各棟情報、写真、地図情報を表示します。

■「建造物修理アーカイブ」(文化財建造物保存技術協会) <https://www.bunkenkyo.or.jp/archive-site/>

文化財建造物保存技術協会が携わった修理工事のうちから特色ある事例を抽出し、写真や図面を活用して分かりやすく解説しています。山梨県内の建築物は、地域を「中部」にして検索してください。「安藤家住宅 主屋 表門 南蔵 北蔵 文庫蔵」「慈眼寺 庫裏」など、8件が登録されています。